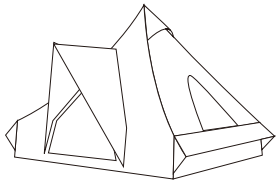
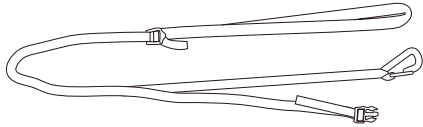
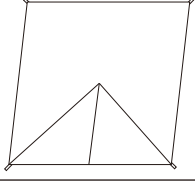
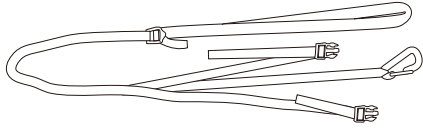
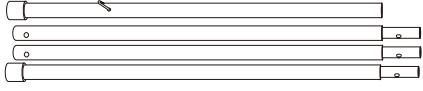



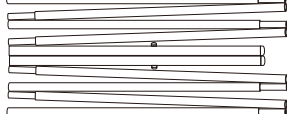
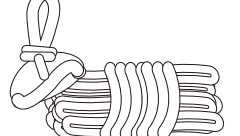




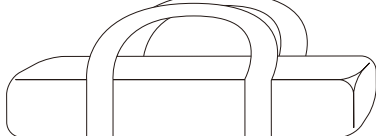

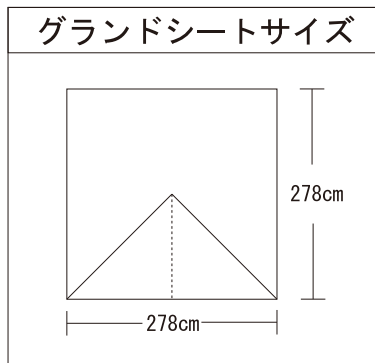
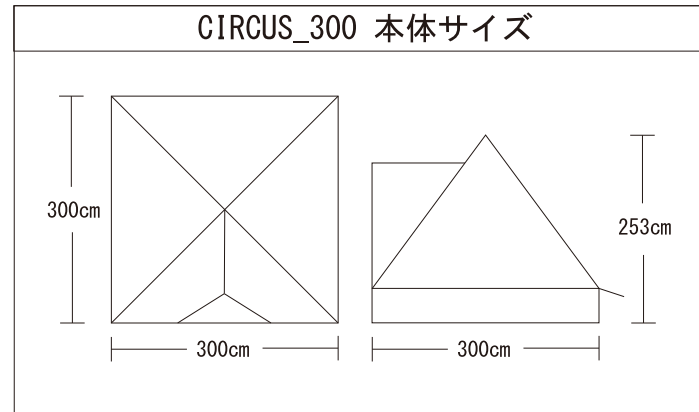


セット内容	
□ 本体生地 × 1 	□ ガイラインテープA × 2 
□ グランドシート × 1 	□ ガイラインテープB × 2 
□ メインポール × 1 カラー：シルバー / φ30mm 	□ 張綱(S) × 6  (1.5m) ※2穴自在付
□ サイドフレーム × 4 カラー：レッド / φ13mm 	□ 張綱(M) × 3  (3m) ※2穴自在付
□ エントランスフレーム × 1 カラー：レッド / φ14.5mm 	□ 張綱(L) × 1  (4m) ※三角自在付
□ フレームバッグ × 1 	□ ペグ(L) × 4  ※スチール製
□ ペグバッグ × 1 	□ ペグ(S) × 19  ※アルミ製
□ 収納袋 × 1 	□ 取扱説明書(本書) × 1 

## 製品サイズ



製品サイズ(約)：本体：幅300cm×奥行300cm×高さ253cm  
グランドシート幅278cm×奥行278cm  
製品重量(約)：11.5kg(ペグ、張綱、収納バッグを含む)


## 材質

- 本体：ポリエステル210d(PU加工/耐水圧1500mm、テフロン撥水加工)
- フレーム：アルミ合金(アルマイト加工)
- グランドシート：ポリエステル210d(PU加工/耐水圧1000mm)
- ガイラインテープ：ポリエステル
- 張綱：ポリプロピレン
- ペグ：(L)スチール/(S)アルミニウム
- 収納袋：ポリエステル


発売元 **株式会社カンセキ**  
〒321-0158  
栃木県宇都宮市西川田本町3-1-1



MADE IN CHINA



TM-S300  
**CIRCUS 300 取扱説明書**



本書は製品を安全に使用するための禁止事項と設営方法を記載しております。使用前に必ずお読みください。また必ず製品とともに保管してください。

### ⚠ 警告

- ベンチレーターや出入り口が完全に閉まった状態で使用すると酸欠による事故の可能性があります。必ず定期的に換気をするか、ベンチレーターを開けた状態で使用してください。
- テント内で火気は絶対に使用しないでください。
- 台風、暴風雨の際は絶対に使用しないでください。
- 使用中は天候の変化に注意し突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は使用を中止しすみやかに撤収、安全な場所へ退避をしてください。

### ⚠ 注意

- 快適なキャンプのために製品の破損や付属品の不足がないことを確認してから使用してください。
- 必ず周囲の安全を確認し広い場所で組み立て使用してください。特にお子様がいる場合はフレームがぶつかったりしないよう十分にご注意ください。
- 設営及び撤収の際は手袋等を着用し、安全に作業をしてください。
- 説明書に従いすべての張綱を確実に固定した状態でご使用ください。
- 焚火のそばなど火があたる可能性のある場所、火の粉がかかる恐れのある場所では使用しないでください。
- テント内と外気の温度差、使用人数が多い場合は結露が生じテント内に水滴が付く恐れがあります。
- 製品に使用している素材は使用頻度に関わらず湿度、日光、温度などの環境要因により徐々に劣化します。
- お客様による製品の改造、誤った使用方法による事故や故障につきましては一切の対応をお断りいたします。
- 常設用ではありません。直射日光の常時当たる環境でご使用となる場合は退色や生地劣化が進み短期間で製品寿命となることがあります。
- 砂地や河原など付属のペグで固定が不十分な場合は、別途設営場所に合わせた市販のペグをご用意ください。

### メンテナンス、保管上の注意

- 使用後は汚れを良く落とし、乾燥させてから収納、保管してください。
- 濡れたままや汚れたまま収納保管すると、カビや臭いの発生、色移り、生地劣化を早めます。
- 製品の破損、故障についてはご購入いただいた販売店までご相談ください。



# 設営方法

## 1 設営前の確認

- セット内容の確認をして不足や破損、異常がないか確認します。
- 気象条件、地面の状況、設営の向きを考慮して設営場所を決定します。

## 2 本体を広げます。

①本体生地を正方形に広げます。(図1)

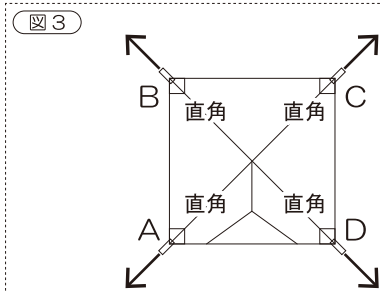
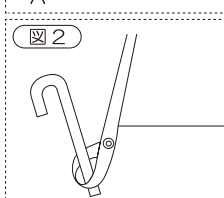
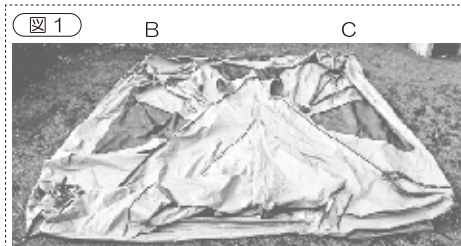
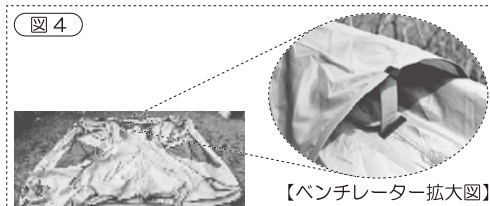
②はじめにAをペグ(S)で固定します。(図2)

③同様にB→C→Dの順序でペグダウンします。(図3)

※対角線上に少し引っ張りながら裾部の角が直角になるように位置を調整してください。

④テント中央2か所のベンチレーターを組み立てます。(図4)

⑤ベンチレーター内部の板を立ち上げ面ファスナーで固定します。(図4)【ベンチレーター拡大図】



## 3 メインポールをセットします。

①メインポールを組み立てます。(図5)

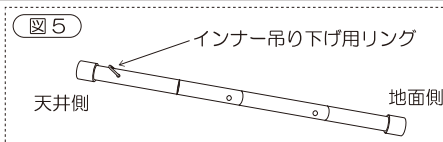
②テントの内側から屋根部頂上にあるメインポール受けを確認します。(図6)

③ポール受けとメインポール天井側先端を合わせます。(図6)【拡大図】

④メインポールをゆっくりと上方向に起こして屋根を立ち上げます。(図7) (図8)

### ご注意ください!

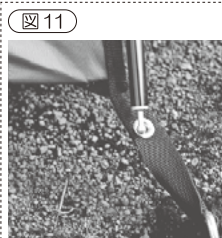
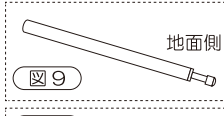
生地を持ち上げるために強い力が必要ですが、ペグの抜けや生地が破れたりしないように注意しながらゆっくりと立ち上げてください。



## 4 サイドフレームを取り付けます。

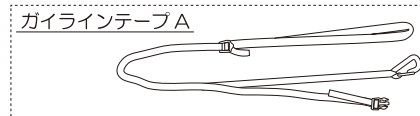
①フレームの方向に注意してテント本体四隅のスリーブにフレームを差し込みます。(図9) (図10)

②次にフレーム末端の突起をペググループのハトメ穴に差し込んで固定します。(図11)



## 5 ガイラインテープをセットします。

①テント入口側の左右2か所A部分張網用ループにガイラインテープAのカラビナを取り付けます。(図12)

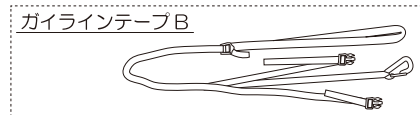


②ガイラインテープ下側Bをテント本体と接続します。(図13)

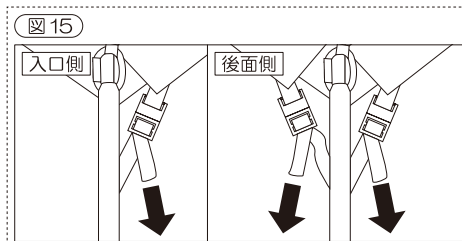
※テープはゆるめておきます。

③ガイラインテープをテント対角線延長上に伸ばして地面にペグダウンします。

④テント入口反対側2か所にも同様にガイラインテープBを取り付けます。(図14)



⑤四隅のペグダウンが終わったら樹脂バックル側のテープ(計6か所)を少しずつ引き絞りスカートの張りを調整します。(図15)



## 6 エントランスポールをセットします。

①エントランスフレームを組み立てます。(図16)

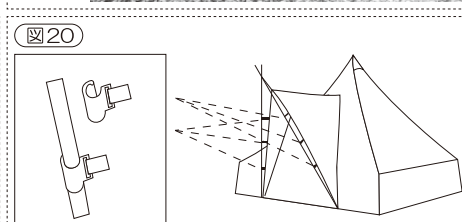
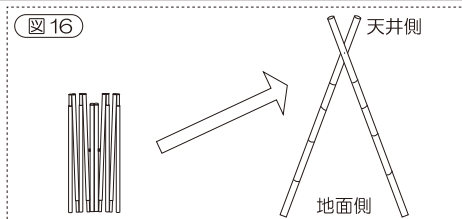
※ポールの交差部分が天井側になります。

②テント入口上側についているテープ端のリングをエントランスフレームに通します。(図17)

③テント入口下部の左右2か所の金属ピンをエントランスフレームに差し込みます。(図18)

④金属ピン上部にある面ファスナーでフレームとテントを取り付けます。(図19)

⑤樹脂フック6か所をエントランスフレームに接続します。(図20)



## 7 張網を固定します。

①エントランスフレーム上部のリングに張網(L)を取り付けます。(図21) (A)

②張網を地面にペグダウンします。(図21) (B)

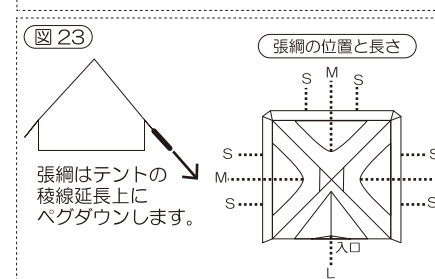
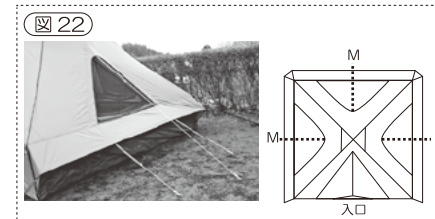
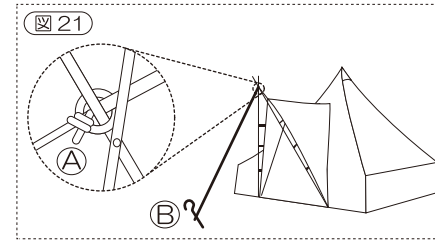
※風でばたつかず、テントの生地が変形しない程度の強さに自在金具で張網の長さを調整します。

③メッシュウインドウ上部の張網用ループに張網(M)を取り付けペグダウンします。(図22)

※窓のある3面すべて取り付けてください。

④スカートの中央付近2か所にある張網用ループに張網(S)を取り付けペグダウンします。(図23)

※スカートのついている3面すべてをペグダウンします。(計6か所)



## 8 グランドシートをセットします。

①グランドシートのファスナーを開けてテント内にグランドシートを広げます。(図24)

- ・ファスナーのある方向が入口側になります。
- ・[tent-mark]の印刷面が表側になります。

②メインポールを少し持ち上げグランドシートをメインポール下に敷きます。(図25)

③グランドシート四隅の樹脂フックでテントと接続します。(図24) (A)

④グランドシートのセンターファスナーを閉じます。(図26)

※ファスナーを開けて土間として使用する際はグランドシートのトグル部分に生地を巻留めて使用してください。



## 9 最終確認

⚠ 使用前にテント内外を一周し設営状況を確認してから使用してください。

- テントのゆがみ
- 生地破損、フレームの変形
- 張網やテープのゆるみ
- ペグの抜け
- メインポールの傾き、ぐらつきがないこと
- テント内部の地面に鋭利な物がないこと
- 収納袋、ハンマーなどの収納



## 10 収納方法

- ①使用後はテントの結露、汚れをふき取ります。
- ②良く乾燥させてから、設営の逆の順序で撤収、収納してください。